

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

新たな連携（新連携事業）について

平成24年8月8日

地方同士の新たな連携

農産物直売所における特産品の相互販売（平成22年度～）

<概 要>

各県の農産物直売所において、特産物の相互販売を行うことにより、農産物直売所の賑わいづくりと県産農林水産物をPRする。

<これまでの実績>

平成22年度 6県が連携して実施(56か所)

平成23年度 11県が連携して実施(146か所)

<平成24年度の予定>

時 期 平成24年6月～

内 容 各県の農産物直売所同士が連携し、
特産物等を相互に販売



直売所交流の様子(平成24年7月)



地方同士の新たな連携

農産物等の首都圏での一斉販売（平成23年度～）

<概 要>

各県の特徴ある農産物等を都心で一堂に集めて販売することにより、集客力を高め、効果的なPRや販路拡大を促進する。

<これまでの実績>

- 時 期 平成23年10月9日(日)～10日(月・祝)
- 場 所 ふくい南青山291前の広場
- 内 容 独自に青空マルシェを開催し、旬の野菜や果物、農産物の加工品等を販売

<平成24年度の予定>

- 時 期 平成24年10月20日(土)～21日(日)
- 場 所 Farmer's Market@UNU 会場
(東京都渋谷区神宮前 国際連合大学前広場)
- 内 容 全国8都市で開催されるマルシェ・ジャポンのうち、毎週土日に国際連合大学前で開催されているマルシェに、ふるさと知事ネットワークとして出店



地方同士の新たな連携

首都圏のアンテナショップ同士の連携（平成23年度～）

<概 要>

各県のアンテナショップが連携し、各県の特徴ある商品を集めたフェアを開催することにより、首都圏での特産品等の販売促進を図る。

<平成24年度の予定(これまでの実績を含む)>

- 福井県のアンテナショップ「ふくい南青山291」に設置した共同販売棚を活用し、統一のテーマでご当地商品を集めたフェアを開催

- 第1弾フェア ご当地カレー（平成23年8月～11月）
- 第2弾フェア お鍋に合う調味料（平成23年12月～平成24年2月）
- 第3弾フェア 行楽に合うお菓子（平成24年3月～5月）
- 第4弾フェア ご当地サイダー （平成24年6月～8月）

※今後も定期的にフェアを開催

- 「アンテナショップフェスティバル」にふるさと知事ネットワークとして出店し、統一テーマでご当地商品を販売

日 時 平成24年11月2日（金）～4日（日）

場 所 ふくい南青山291、新潟館ネスパス



地方同士の新たな連携

学校給食交流（平成23年度～）

<概 要>

各県の小・中学校で他県の郷土料理や食材を使った給食を提供することにより、子どもたちが各県の特徴や代表的な食・食文化などを学ぶきっかけづくりを行う。

<これまでの実績>

時 期 平成24年1月～2月

内 容 6県が参加し、346校で他県の献立で給食を提供。併せて、献立提供件の情報も紹介

<平成24年度の予定>

各学校において、平成24年9月3日（月）～2月28日（木）の間に「〇〇県のふるさと給食の日」を設定し、他県の献立で給食を提供。併せて、献立提供県の情報も紹介

《学校給食交流(例)》

＝島根県の献立＝

- ・麦ごはん
- ・牛乳
- ・あご野焼きの磯辺揚げ
- ・納豆和え
- ・しじみ汁
- ・デラ・ゼリー



[内容]

- ・県の位置・基本情報
- ・郷土料理の特徴、由来
- ・特産物、食文化 など

交流

〇〇県を知ろう

- ・どこ？
- ・おいしい食べ物？
- ・産業は？

＝三重県の献立＝

- ・たこめし
- ・牛乳
- ・野菜の卵とじ
- ・あおさの味噌汁



地方同士の新たな連携

若者グループ同士の交流（平成24年度～）

<概 要>

若者グループ同士が、それぞれの活動内容についての意見交換や交流を深めることで、お互いの文化を学び合い、新たな活動につなげる。

<平成24年度の活動>

時 期 平成24年8月4日（土）～5日（日）

内 容 福井県の若者グループが山形県を訪問し、山形県の若者グループと交流

- ・山形県と福井県の若者が共同で、一般向けのイベントを実施

- （山形県の伝統料理である「芋煮鍋」をつくる など）

- ・若者グループの活動発表、意見交換

- ・まちづくりのリーダーとの意見交換

- ・民俗芸能の相互紹介、花笠踊りに参加 など

参加者 福井県16名

山形県46名



山形県と福井県の若者交流の様子（平成24年8月）